

作者プロフィール

柚木 文夫氏 千葉県隊友会会員 習志野支部長 桧町陸幕 平成2年退官 1958年防衛大学卒
元防大山岳部監督 現自衛隊山岳連盟会長

栃木三峰山－山岳修験者の山－



星野の里から見上げる栃木三峰山

3月初旬、地元の友人に誘われ、栃木三峰山（605m）に出かけた。この山の麓の星野の里はセツブンソウで知られ、一度その時季に訪ねて見たかった山でもある。

栃木ICで高速を下り9時半、星野部落の御嶽山神社の駐車場に車を置かせてもらった。9時45分出発で、神社境内の石段を登った後、杉林の中を15分程進むと清滝に出る。寒風の中、一心不乱に滝に打たれる修験者の姿に感動した。ここはやはり山岳修験者の山である。



普寛霊神の祠

祠に出て一休み。これから先は岩を乗り越し乗り越しの急登が続き、10時50分ようやく主稜線に飛び出した。主稜線を右に5分程も進んだ所が奥ノ院で、神皇産霊尊、天之御中主尊、高皇産霊尊の三尊立像が鎮座まします立派な石祠がある。



奥ノ院

ここから傾斜が増えて岩混じりの登りになり、間もなく普寛霊神の

展望が開け、表日光の連山が良く見えた。少し早

いがここで昼食休憩。11時半出発で先の分岐まで戻り、そのまま尾根道を三峰山本峰に向かう。ここは修験者の山巡り修行の順路のようで、時折り白装束姿の修験者に行き会い、道を譲って黙礼し



三峰山頂

た。八坂様分岐を過ぎ、急な岩場を一登りすると権現山。そこから急傾斜を下り、俱利伽羅分岐から登り返し、三峰山本峰到着12時半。木立に囲まれた山頂は石祠があるだけで残念ながら展望

はゼロ。下山は、俱利伽羅分岐まで戻り、慎重に足場を選びながら俱利伽羅不動尊まで急降下。その後も岩場の下降が連続し、最後は鍾乳洞のある浅間大神の前から約10mの断崖を鎖にすがって下降し、13時半、やっと林道に到達した。緊張が解け、さすがにホッとしました。

後は林道のブラブラ歩きで、駐車場帰着が14時。帰りがけ、星野の里のセツブンソウ園を見物した。広い園内の遊歩道に沿い、見上げればロウバイ、足元にはセツブンソウが今を盛りと咲き乱れていた。



セツブンソウ



ロウバイ